

# 平成 28 年度 栗東市バス対策地域協議会(第 2 回)

## 議 事 録

[開催日時] 平成 29 年 2 月 7 日(火) 10:00～

[開催場所] 栗東市役所 2 階 第 1 会議室

[出席者] 清水会長、坂口副会長、戸田委員、芝委員、加藤委員、黒田委員、  
影山委員（代理者出席）、青木委員（代理者出席）、高尾委員、隠岐委員、  
立川委員（代理者出席）、山田委員、野村委員、濱田委員、坂田委員  
野村市長、太田市民部長、事務局（市民部生活交通課）

[欠席者] 川口委員

[会議概要]

1. 開 会
2. 挨拶  
・ 清水会長挨拶  
・ 野村市長挨拶
3. 協議事項
  - (1) 地域内フィーダー系統確保維持計画について
  - (2) くりちゃんバスの利用状況・収支状況について
  - (3) その他
    - ・ 「草津駅・手原線」「治田循環線」「葉山循環線」の運行事業者の変更について
    - ・ 帝産湖南交通(株)「金勝線」(草津駅～コミュニティセンター金勝)について
    - ・ 「フレンドマート」「中村」の乗り継ぎバス停への変更について
6. 閉 会  
・ 坂口副会長挨拶

[議事内容]

1. 開 会

2. 挨拶

3. 協議事項

(1) 地域内フィーダー系統確保維持計画について

主な意見、質疑応答など

○意見無し

(2) くりちゃんバスの利用状況・収支状況について

主な意見、質疑応答など

○意見無し

(3) その他：

- ・「草津駅・手原線」「治田循環線」「葉山循環線」の運行事業者の変更について
- ・帝産湖南交通(株)「金勝線」(草津駅～コミュニティセンター金勝)について
- ・「フレンドマート」「中村」の乗り継ぎバス停への変更について

主な意見、質疑応答など

○地域間幹線系統という市町村の主要なまちを跨いでいくバス路線には、国からの補助金を利用して維持している路線があるが、帝産湖南交通(株)「金勝線」は補助対象路線として考えているのか？

→乗車人員が国からの補助金の対象基準以上のため単独で維持しており、経営効率化を図った上で路線を維持していきたい。

○帝産湖南交通(株)「金勝線」の「中村～金勝小学校前～コミュニティセンター金勝」の部分については、廃止するのか？

→「中村～金勝小学校前～コミュニティセンター金勝」の部分については、廃止ではなく減便となります。

○全国的に高齢者の事故が多発している状況にあり、また、3月の道路交通法の改正により、免許更新のハードルが高くなるため、返納者が増えるのではないかという報道があるなか、運転免許返納者に対する支援というのは、現時点では検討されていないのか？

→現時点では、運転免許返納者に対する支援は考えていないが、国からの支援などが今後出てくれば、対応することも可能になってくると考えている。

○湖南市や近江八幡市では、高齢者の運転免許証返納者にはバスの回数券の無料配布をしている。栗東市においても国の支援があれば、という対応ではなく、運転免許返納の支援になり、交通安全にも繋がるため、運転免許返納者に対するバスの回数券の無料配布等の支援を検討したほうが良いのではないかと？

→検討課題にはなりますが、国の財政的な支援があったほうが検討しやすい。単純に市単独で助成券を出してしまうと、財政上の重荷になってしまう。

→財政支援だけではなく、利用促進も含めた支援を進めていくことで、運転免許返納後のバス利用を促し、交通安全にも繋がると思われる。

行政だけでなく、市民の力で支える仕組みを作る必要があると思われる。

また、学童に対しての交通教育も、地域公共交通の利用者を増やしていくために必要な取り組みである。

○くりちゃんバスには、広告が入っているのか？くりちゃんバスに広告を入れると欠損金の足しになると思われる。

→募集はしているが、現在は入っていない。

#### 4. 閉会

以上